



みなみの考え

いじめが起きにくいクラスって？



(ノックアウトくんから 最後の質問)

いじめが起きにくいクラスを作るために「お互いを知るきっかけ」
どうやって作ったらいい？

高橋さん

きっかけは本当にこれはね『運』だと思います。たぶん子どもたちの中で、できるきっかけって『運』と『タイミング』しかないと思うんですよ。例えば、たまたま隣の席の子が、たまたま自分の好きなマンガを読んでいた。「あっ！」って興味を持って「えっ！？それ読んでるの？私も読んでるんだけど」みたいなところのきっかけ。

なるほど。「興味を持つ」ことでお互いを知るきっかけを確実なものにしていくんですね。他には、ありますか？



高橋さん

やっぱり『大人が確実にわたすきっかけのボール』というのはあると思うので、こればかりは、クラスを受け持つ先生方。是非きっかけを渡してあげてほしいなって思うんですよ。



『先生が確実にわたすきっかけのボール』って？
どんなものがあります？

高橋さん

例えば、休み時間「今日の休み時間は、お前とお前だけ。君と君で遊んでみて」とか、無理やりにも絶対嫌がられるけど、「いや本当に嫌っすよ！」「え～あいつと？」みたいなことに多分なるけど、無理やりやらせられるのは他者、大人の人（先生）じゃないとできないなって思うので、いつもの延長戦よりも新しい発見をさせるために、違う組み合わせと違う時間を与えるっていうのは大事なんじゃないかなって。

なるほどね。子どもたちが自分でできること。先生に手伝ってもらって
できること。「お互いを知るきっかけ」の作り方をみんなで考えてみるのも
いい
かもしれないね。





ちなみに高橋さんなら「お互いを知るきっかけ」をどうやって作りますか？
行動宣言に書いてください。

高橋さん

私、高橋みなみの行動宣言は『後輩とたくさんご飯に行く！』です。やっぱりいるじゃないですか仲のいい子、峯岸みなみ、小嶋陽菜は同期だからご飯もよく行く。でも、もっと違うなって、もっと全然行けてない子がいっぱいいて、その子たちと2人きりでご飯に行って話そうって。二人の時間を作るっていうのはすごく大事なこと。後輩から先輩に「今日ご飯に行きましょうよ」「話したいことあるんです」とはなかなか勇気がいる。ふたりで話すと、その子の悩みだったりとか、先の不安だったりとか、いろいろ今の自分が話せることもあるので、たくさんお話しして、私もコミュニケーションをとりたいと思います。

最後に、これから行動宣言に取り組もうと考えているみなさんに
メッセージをお願いします。



高橋さん

本当に行動宣言ってちょっと聞くと堅苦しいんですけど『目標』だと思います。どういうふうにしていこうとか、軽いこと、一番できやすいこと、「挨拶する」とかでもいいですし、やっぱり目標を掲げる自分で見つめるというのはすごく大事なことだと思うので、ぜひ皆さんに行動宣言書いていただければうれしいなと思いますしよりよいクラスができることを願っています。

いじめを減らすためにひとりひとりに何ができるのかを考える
「100万人の行動宣言」の宣言用紙が、自由にダウンロード
できるようになりました！

<http://www.nhk.or.jp/ijimezero/schoolform.html>

